

広島市に訪問しました（豊田中学校3年生）

① 派遣者（右から順に）：関蒼真^{せみせうま}さん 稲田藍^{いなだあい}さん
森山友稀^{もりやまゆき}さん 平田ちひろ^{ひらたちひろ}さん

- 8月4日 広島県広島市に到着
- 5日 広島市立翠町中学校を訪問 _____ ②
- 「ヒロシマ青少年 平和の集い」に出席 _____ ③
- 6日 平和記念式典に出席 _____ ④
- 平和記念資料館、原爆ドームを見学 _____ ⑤



『I think I say I do』 平和な世界にしたいと思うのは簡単。
それを言い、行動することが大切だと知りました。



↑翠町中学校では慰霊祭を学校行事としていたり、オバマプロジェクトに参加したりと平和活動にとっても積極的です。翠町中学校の生徒の発表を聞いて「子どもでも知ろうとする、やってみる、探す」ということが大切だと思いました。



←瀬越睦彦^{せごしむつひこ}さんの被爆体験講演を聞きました。「朝食の時、母から皿を受け取ろうとした瞬間。目の前の母親が真っ白に光り、人形のように見えた」という話に、当たり前前の日常が一瞬にして消える怖さが伝わってきました。

→ 慰霊碑の前に献花を、心から平和を願いました。



←平和記念資料館で被爆者の写真を見て衝撃を受けました。戦争の怖さを改めて知りました。

六角堂



御船祭



近代日本美術の発展に大きな功績を残した岡倉天心が自身の設計で建てた「観瀾亭」と名付けられた六角堂。国の登録有形文化財の六角堂は、東日本大震災の津波で土台のみを残し姿を消しました。現在は、再建され公開されています。

「常陸大津の御船祭」は5年に1度の大祭です。いつか見に行きたいです。

星野杏樹^{ほしのあんじゅ} 記者



◀報告書の詳細は、公式ホームページで閲覧できます。

報告書
Pick Up

姉妹都市の北茨城市に南宮中学校の3年生が学校新聞特派員として、取材に行ってきました。

学校新聞特派員
レポート



長崎市に訪問しました（中野平中学校3年生）

① 派遣者（左から順に）：和田希平さん 藤岡寛人さん
水野妃菜子さん 松沢衣織さん



8月8日 長崎県長崎市に到着
「青少年ピースフォーラム」に参加 ②

8月9日 平和祈念式典に出席 ③
長崎市立緑ヶ丘中学校を訪問 ④



←平和祈念式典では、慰霊碑に献花と全校生徒で折った千羽鶴を捧げてきました。11時2分に参加者全員が黙とうをし、内閣総理大臣やアントニオ・グテーレス国際連合事務総長の演説を聞きました。演説を聞き、改めて平和への意識を強く持ちたいと感じました。

↑小峰秀孝さんの被爆体験を聞きました。被爆後に学校で受けたいじめやけがの苦しみに「差別をしない」という平和の気持ちを持つことの大切さを学びました。また、「戦争のない世界は一人ひとりが作る」という話がとても印象的でした。



高校生ボランティアの案内で被爆した建物なども見えました。

→ 緑ヶ丘中学校での平和集会では、十三崖で学んだことを発表しました。また、緑ヶ丘中の生徒から詩の群読、語り、演劇などでの発表がありました。



訪問を通して、唯一の被爆国の日本が誰よりも、平和への願いを持ち続けなければいけないと思いました。

紅谷知里 記者



ニツ島海岸



観光場所のニツ島海水浴場にはニツ島という岩肌からなる島があります。この近くのホテルや飲食店は、海岸が見えるテラスや露天風呂があります。

北茨城市では、東日本大震災で震度6弱の大きな揺れと津波に襲われました。4mの津波が襲ったそうです。北茨城市漁業歴史資料館には約2mの津波が観測されています。

野口雨情生家



俳句ポスト



滝澤槇之介 記者

野口雨情の生家は「観海亭」と呼ばれ、磯原の海を望むように建築されています。緑に囲まれ、中山晋平生家とも似ています。また、雨情生家の入口には、俳句ポストがあります。

雨情と晋平はとても貴重な関係です。この二人の深い関係があるからこそ、今の北茨城市と中野市の音楽を通じた交流があるんだと感じました。